

# 令和2年度 大阪府社会福祉協議会老人施設部会 事業報告

## <概要>

令和2年度の老人施設部会は、世界中が新型コロナウイルス感染症という未曾有の危機に直面する中、会員施設への物資の支援、学生アルバイトの支援、府社協と連携してクラスター発生施設への応援職員派遣の協力などを行った。

感染症の拡大防止の観点から、上半期には各種会議や研修会の中止や延期が相次いだが、WEB会議システムの整備や、公式YouTubeチャンネルを開設するなど、新しい会議や研修会のあり方を構築するに至った。YouTubeチャンネルでは、大阪老人福祉施設研究大会の動画などを配信した。

また、常任委員会および各分科会では特に調査研究に力を入れて取り組んだ。常任委員会制度提言委員会では、令和3年介護報酬改定を迎えるにあたり、施設の実態に見合った報酬体系等について国や介護給付費分科会に対して要望書を提出した。

特養分科会では、紹介及び派遣職員調査を実施し、各施設が派遣会社等と交渉する際の根拠資料を作成した。

養護分科会では、昨年度に実施した実態調査の結果を基に、措置控えや処遇改善についての要望書を軽費分科会と共同して大阪府へ提出し、意見交換を行った。

在宅分科会では、緊急事態宣言解除後の利用状況等に関するアンケート調査を行い、その結果を全国社会福祉法人経営者協議会並びに大阪府に提出した。

人材確保と定着、育成における課題については、福祉介護人材対策プロジェクトにおいて、求職者向けのPR冊子や学生インターンシップやアルバイトの受け入れのポイントをまとめた事例集を作成した。また、次世代育成委員会においては、小学生に福祉・介護のイメージを正しく理解していただくため、漫画「みんな笑顔でいたいから～やさしさつなごう～」並びに「世代間交流会の手引き」を発行した。

社会貢献事業については、就労訓練事業（中間的就労）の就労支援担当者向けの研修動画を作成し、YouTubeチャンネルで公開している。

その他、部会ニュースの発信やニーズに応じた研修会の開催を通じて、様々な有益な情報を提供するよう努めた。

上記の主な取り組みのほか、下記に記載する各事業に取り組んだ。

## 1. 諸会議の開催

### (1) 部会総会

No.	期 日	会 場	人 員	主 な 議 題
1				<議案内容> ○令和元年度事業報告・収支決算について ○役員の一部改選について ○令和2年度部会費の取り扱いについて <報告> ○令和2年度事業計画・収入支出予算について

### (2) 正副部会長会議

期 日	会 場	主 な 議 題
常任委員会前 ほか随時開催	OMM 会議室	全国ならびに大阪府情勢への対応 常任委員会の持ち方 老人施設部会事業について

(3) 常任委員会

No.	期 日	会 場	人 員	主 な 議 題
	R2.4.28	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。		
	2.5.21	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。		
1	2.6.23	OMM会議室 201・202	21	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新常任委員の紹介</li> <li>○新型コロナウイルス感染症への対応について</li> <li>○新型コロナウイルスに関連した取り組み調査について</li> <li>○研修事業について</li> <li>○在宅分科会 会費基準について</li> <li>○大阪しあわせネットワークの推進について</li> </ul>
2	2.7.28	OMM会議室 201・202	20	<ul style="list-style-type: none"> <li>○社会福祉施設におけるクラスター対策について</li> <li>○全国老協からの支援物資について</li> <li>○大阪老人福祉施設研究大会について</li> <li>○大阪しあわせネットワークの推進について</li> </ul>
3	2.9.15	OMM会議室 203・204	22	<ul style="list-style-type: none"> <li>○令和3年度大阪府当初予算に対する要望について報告</li> <li>○老人施設部会 YouTube チャンネルの開設について</li> <li>○養護・経費の要望書について</li> <li>○新型コロナウイルスによる経営への影響に関するアンケートの報告</li> <li>○新型コロナウイルス発生施設の事例報告会について</li> <li>○大阪しあわせネットワークの推進について</li> </ul>
4	2.11.24	OMM会議室 201・202	18	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新型コロナウイルスの影響を受けた社会福祉施設への応援職員派遣について</li> <li>○研修事業について</li> <li>○啓発雑誌の作成について</li> <li>○利用状況等に関するアンケート結果の活用について</li> <li>○外国人留学生等の実態について</li> <li>○令和2年度補正予算(案)について</li> </ul>
5	2.12.22	OMM会議室 グラン	17	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新型コロナウイルスの感染状況について</li> <li>○軽費・養護分科会の会費基準の見直しについて</li> <li>○学生インターン等の受け入れに関するアンケート報告</li> <li>○大阪しあわせネットワークの推進について</li> <li>○令和3年度事業計画について</li> <li>○全国老協代議員選挙について</li> </ul>
6	3.1.26	OMM会議室 201・202 ※オンライン 併用	21	<ul style="list-style-type: none"> <li>○高齢者施設「スマホ検査センター」の開設について</li> <li>○新型コロナウイルスの感染状況について</li> <li>○令和3年度事業計画について</li> <li>○令和3年度総会について</li> </ul>
7	3.2.24	OMM会議室 204・205 ※オンライン 併用	18	<p><b>【協議題】</b></p> <p>第1号議案：令和2年度補正予算案について            第2号議案：令和3年度事業計画案について            第3号議案：令和3年度当初予算案について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○新型コロナウイルスの感染状況について</li> <li>○令和3年度近老協大阪大会（オンライン）について</li> <li>○大阪しあわせネットワークの推進について</li> </ul>

#### (4) 各種委員会

##### ①次世代育成委員会

No.	期 日	会 場	人 員	主 な 議 題
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、本年度は開催なし。 漫画「みんな笑顔でいたいから～やさしさつなごう～」並びに「世代間交流会の手引き」を発行。				

##### ②制度提言委員会

No.	期 日	会 場	人 員	主 な 議 題
1	R2.7.6	大阪社会福祉 指導センター	7	○2021年度介護報酬改定に向けた要望について ○大阪府との意見交換（実地指導・指導監査の指摘事項） について

##### ③研修委員会

No.	期 日	会 場	人 員	主 な 議 題
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、本年度は開催なし。 電子メールを活用して、各委員と研修企画の打合せを行った。				

#### (5) 老人施設部会ブロック会議

No.	期 日	会 場	人 員	主 な 議 題
1	R2.6.17	堺市総合福祉 会館	33	<堺市ブロック> ○老人施設部会事業の進捗について ○大阪しあわせネットワークの推進について ○各種課題に関する意見交換・情報交換
2	2.7.31	オンライン	40	<大阪市ブロック> ○老人施設部会事業の進捗について ○大阪しあわせネットワークの推進について ○各種課題に関する意見交換・情報交換
3	2.9.24	オンライン	26	<大阪市ブロック> ○老人施設部会事業の進捗について ○大阪しあわせネットワークの推進について ○各種課題に関する意見交換・情報交換
4	2.10.21	堺市産業振興 センター	36	<堺市ブロック> ○老人施設部会事業の進捗について ○大阪しあわせネットワークの推進について ○各種課題に関する意見交換・情報交換
5	2.11.04	千里朝日阪急 ビル	25	<豊能ブロック> ○部会活動の取り組みについて ○大阪しあわせネットワークの推進について ○ブロック事業について ○各種課題に関する意見交換・情報交換
6	2.11.27	オンライン	20	<大阪市ブロック> ○老人施設部会事業の進捗について ○大阪しあわせネットワークの推進について ○各種課題に関する意見交換・情報交換

No.	期 日	会 場	人 員	主 な 議 題
7	2.12.10	オンライン	28	<堺市ブロック> ○老人施設部会事業の進捗について ○大阪しあわせネットワークの推進について ○各種課題に関する意見交換・情報交換
8	3.1.20	オンライン	11	<南河内ブロック> ○部会活動の取り組みについて ○大阪しあわせネットワークの推進について ○令和3年度役員体制、ブロック事業について ○各種課題に関する意見交換・情報交換
9	3.2.05	オンライン	38	<大阪市ブロック> ○老人施設部会事業の進捗について ○大阪しあわせネットワークの推進について ○各種課題に関する意見交換・情報交換
10	3.2.15	オンライン	7	<三島ブロック> ○部会活動の取り組みについて ○大阪しあわせネットワークの推進について ○令和3年度役員体制、ブロック事業について ○各種課題に関する意見交換・情報交換
11	3.2.17	オンライン	34	<堺市ブロック> ○老人施設部会事業の進捗について ○大阪しあわせネットワークの推進について ○各種課題に関する意見交換・情報交換
12	3.2.26	オンライン	15	<中河内ブロック> ○研修会「ロボット・ICTを活用した現場革新セミナー」 ／株式会社 日本経営 次長 宮本 翔 氏 ○老人施設部会事業の進捗について ○大阪しあわせネットワークの推進について ○令和3年度役員体制、ブロック事業について
13	3.3.3	オンライン	10	<北河内ブロック> ○部会活動の取り組みについて ○大阪しあわせネットワークの推進について ○令和3年度役員体制、ブロック事業について ○各種課題に関する意見交換・情報交換
14	3.3.10	オンライン	23	<豊能ブロック> ○部会活動の取り組みについて ○大阪しあわせネットワークの推進について ○令和3年度役員体制、ブロック事業について ○各種課題に関する意見交換・情報交換
15	3.3.12	オンライン	44	<大阪市ブロック> ○老人施設部会事業の進捗について ○大阪しあわせネットワークの推進について ○各種課題に関する意見交換・情報交換
16	3.3.18	オンライン	20	<泉州ブロック> ○各種課題に関する意見交換・情報交換 ○令和3年度泉州ブロックの役員体制について ○令和3年度泉州ブロック事業について

## (6) 大阪府担当課との意見交換会

No.	期 日	会 場	人 員	主 な 議 題
1	R2.4.14	大阪社会福祉 指導センター	5	○新型コロナウイルス感染症についての意見交換
2	2.5.25	大阪社会福祉 指導センター	7	○新型コロナウイルス感染症についての意見交換
3	2.11.12	大阪府庁	4	○主に養護老人ホームについての意見交換

## (7) 要望活動

### ①令和2年度大阪府当初予算要望（抜粋）

#### <人材確保について>

- ①福祉・介護分野への関心を高めるプラスイメージの発信や正確な情報提供、それぞれの意欲・能力・役割に応じたキャリアアップと処遇改善といった参入促進から定着までの取組みが一体的に行われなるようにすることが必要である。介護職のさらなる処遇改善を国に働きかけるとともに、質の高いサービス提供と離職防止や定着を図るため労働環境改善の取り組みに力を入れられたい。
- ②福祉職員の労働条件の改善の一環として、多職種間の情報共有や蓄積、WEB研修・面接などに活用するための機器整備等への経済的支援の拡充（高齢介護分野の充実とそれ以外の種別への拡大）やそれを運用する人材の配置など、福祉現場におけるICT・IoT、AIの推進施策を講じられたい。
- ③今回のコロナ禍のもとでも府内の福祉・介護従事者は業務の重要性を理解し、感染リスクにさらされながら懸命に福祉サービスの遂行に努め、現在も感染予防のための最大限の努力を継続している。これに対し知事からは激励のメッセージをいただき現場の士気も大いに上がったところである。このような福祉・介護従事者への激励と感謝を広く公に示すことは、その社会的評価を高め、現場の職員のモチベーションアップや誇りを持って安心して働き続けられる職業であるというプラスイメージを届けることにつながる。例えば、介護の日(11月11日)に大阪城や太陽の塔をライトアップしたり、知事からの感謝のメッセージを広く発信することにより府民が福祉・介護の重要性やその現場で働く人々に思いを寄せる機会をつくることになり得る。これらを含め福祉人材への社会的評価を高める様々な取り組みを大阪府として取り組まれたい。

#### <軽費老人ホームについて>

軽費老人ホームの事務費・生活費について、施設の維持管理費用ならびに最低賃金の引き上げ等の人件費の増加に伴い、実態に見合うよう上乘せされたい。

### ②介護報酬の基本報酬引き上げ・職員配置基準に関する要望書を提出（R2.8.20）

《内 容》・特別養護老人ホームの基準人員配置について

- ・小規模特別養護老人ホームの介護報酬について
- ・処遇改善加算・特定処遇改善加算の事務手続きや運用面の簡素化について
- ・新型コロナウイルス感染症に係る介護報酬の特例措置について

《提出先》厚生労働省・社会保障審議会 介護給付費分科会 委員

（要望書は本冊子 P29～33 をご参照ください）

### ③養護・軽費・ケアハウスに関する要望書を提出（R2.11.12）

《内 容》・養護老人ホームに対する措置控えについて

- ・入所判定委員会の開催について
- ・養護老人ホーム、軽費老人ホーム・ケアハウス職員等の処遇改善について
- ・消費税率の引上げに伴う養護老人ホームの措置費単価について

《提出先》大阪府知事

（要望書は本冊子 P34～36 をご参照ください）

(8) 福祉介護人材対策プロジェクト

No.	期 日	会 場	人 員	主 な 内 容
1	R2.5.27	オンライン	9	○令和2年度の取り組みについて
2	2.7.27	大阪社会福祉指導センター	10	○大阪老人福祉施設研究大会の実施方法について ○人材確保・定着のためのツール作成について
3	2.9.2	オンライン	10	○大阪老人福祉施設研究大会について ○昇陽高校の実習代替授業について ○オンラインカフェの開催企画について ○関係機関へ訪問するためのツール作成について ○職場環境改善のアプローチについて
4	2.9.17	オンライン	8	○昇陽高校の実習代替授業の担当について
5	2.10.5	大阪社会福祉指導センター	12	○大阪老人福祉施設研究大会エントリー状況について ○介護福祉士ファーストステップ研修オンラインカフェ同窓会の開催について ○新しい介護のあり方を考える研修会について ○学生インターン・アルバイト等の受入れを通じた新卒採用について ○求職者向けのPR冊子の作成について
6	2.10.29	オンライン	12	○求職者向けのPR冊子の作成について ○学生インターン・アルバイト・ボランティアの受け入れに関するアンケートの中間報告 <12/4 研修打合せ・ファシリテーション研修会> 公益財団法人 介護労働安定センター 大阪支部 人材育成コンサルタント 谷口 公一 氏
7	2.11.20	オンライン	8	○求職者向けのPR冊子の作成について ○学生インターン・アルバイト・ボランティアの受け入れに関するアンケートの中間報告 ○12/4 研修 グループワーク・全体共有について
8	2.12.21	オンライン	9	○(株)モルテンスタッフから研修のご提案 ○求職者向けのPR冊子の作成について ○学生インターン・アルバイト・ボランティアの受け入れに関するアンケートの活用 ○12/4 研修会の報告
9	3.3.12	オンライン	11	○求職者向けのPR冊子の作成について ○学生インターン・アルバイト・ボランティアの受け入れに関する事例集について ○3/11 研修会の報告 ○令和3年度事業について

<成果物>

①はたらく先輩インタビュー冊子（新卒・中途用）

内容：メインターゲットを、「新卒」と「中途採用」に絞り、実際に働かれている方にご協力をいただき、それぞれの求職者像に応じた2種類のインタビュー冊子を作成した。

②事例集「学生の心をつかむ！選ばれる施設になるためのヒント」

内容：学生インターン・アルバイト・ボランティアの受け入れに関するアンケートを実施し、採用に結びつけるための工夫や、働きやすい職場環境づくりに関する取り組みについて事例集を作成した。

## 2. 研修事業

### (1) トップマネジメントセミナー

No.	期 日	会 場	人 数	主 な 内 容
1	R3.3.23	オンライン	17	新しい時代に組織マネジメントをアップデートする (株) ピュアテラックス 代表取締役 渥美 崇史 氏

### (2) 管理職認定研修

No.	期 日	会 場	人 数	主 な 内 容
1	R2.9.18	オンライン	19	VUCA 時代におけるミドルマネジャーの役割 ～今求められる、主人公としての意識～ (株) ピュアテラックス 代表取締役 渥美 崇史 氏
2	2.10.2	オンライン	18	これからの時代に求められるリーダーシップ① 『メタリーダーになる』 自己の特性を客観的に知る (株) ピュアテラックス 代表取締役 渥美 崇史 氏
3	2.10.16	オンライン	19	これからの時代に求められるリーダーシップ② 『自律したリーダーになる』 自己を動機づける志を立てる (株) ピュアテラックス 代表取締役 渥美 崇史 氏
4	2.10.30	オンライン	19	これからの時代に求められるリーダーシップ③ 『成熟したリーダーになる』 違いを受け入れ、多様性を生かす (株) ピュアテラックス 代表取締役 渥美 崇史 氏
5	2.11.13	オンライン	17	これからの時代に求められるリーダーシップ④ 『プロデューサーになる』 個性を見極め、伸ばす (株) ピュアテラックス 代表取締役 渥美 崇史 氏
6	2.11.27	オンライン	17	これからの時代に求められるリーダーシップ⑤ 『サーバントリーダーになる』 チームの対話を促進させる (株) ピュアテラックス 代表取締役 渥美 崇史 氏

### (3) リーダー認定研修

No.	期 日	会 場	人 数	主 な 内 容
1	R2.9.11	オンライン	34	『リーダーの心構え① 一般職とリーダーの違い』(前編) (株) ピュアテラックス 代表取締役 渥美 崇史 氏
2	2.9.25	オンライン	32	『リーダーの心構え① 一般職とリーダーの違い』(後編) (株) ピュアテラックス 代表取締役 渥美 崇史 氏
3	2.10.9	オンライン	33	『チームづくりの基本 集団をまとめるスキル』 (株) ピュアテラックス 代表取締役 渥美 崇史 氏
4	2.10.23	オンライン	33	『部下コミュニケーション① 目標設定と任せ方』 (株) ピュアテラックス 代表取締役 渥美 崇史 氏
5	2.11.6	オンライン	34	『 部下コミュニケーション② 共感的な関わり方 』 (株) ピュアテラックス 代表取締役 渥美 崇史 氏
6	2.11.20	オンライン	35	『レジリエンス(回復力)を高める 心が折れないために』 (株) ピュアテラックス 代表取締役 渥美 崇史 氏

**(4) 中堅職員研修**

No.	期 日	会 場	人 数	主 な 内 容
1	R3.1.21	オンライン	18	『後輩の良きメンターになる』 Bigtree 代表 吉田 大佑 氏
2	3.1.22	オンライン	18	『メンターに必要なスキル』 Bigtree 代表 吉田 大佑 氏

**(5) 女性リーダー研修**

No.	期 日	会 場	人 数	主 な 内 容
1	R3.2.15	オンライン	28	『これから求められるリーダー像と女性の特性』 (株) ピュアテラックス 取締役 神田 朋子 氏
2	3.2.16	オンライン	28	『自己理解と自分の活かし方』 (株) ピュアテラックス 取締役 神田 朋子 氏

**(6) 介護福祉士ファーストステップ研修会**

No.	期 日	会 場	人 数	主 な 内 容
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。				

**(7) 認知症研修会（介護福祉士ファーストステップ研修会追加研修）**

No.	期 日	会 場	人 数	主 な 内 容
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。				

**(8) 新型コロナウイルス感染症 事例報告会**

No.	期 日	会 場	人 数	主 な 内 容
1	R2.10.28	オンライン	92	○事例報告① 『特別養護老人ホームにおける新型コロナウイルス発生事例と今後の備え』 (福) ウェル清光会 豊中エリア長 施設長 細川 和孝 氏 ○事例報告② 『新型コロナウイルス感染の発生から収束まで』 (福) 久義会 高秀苑 施設長 田中 智子 氏 ○質疑応答

**(9) 新しい介護のあり方を考える研修会（福祉介護人材対策プロジェクト主催）**

No.	期 日	会 場	人 数	主 な 内 容
1	R2.12.4	オンライン	38	新しい介護のあり方を考えよう（オンライン研修） ～コロナ禍でもできることを前向きに考えてみよう～ 株式会社システムサポート研究所 谷口 公一 氏

**(10) 身体にかかる圧の影響と対策について（福祉介護人材対策プロジェクト主催）**

No.	期 日	会 場	人 数	主 な 内 容
1	R3.3.11	オンライン	50	○褥瘡対策について（マットレスの選定方法、実技） ○ポジショニング、車いす移乗 ○マットレスと車いすのできる感染対策 ○褥瘡対策におけるディスカッション (株) モルテンススタッフ



(11) ファーストステップ研修オンラインカフェ同窓会（福祉介護人材対策プロジェクト主催）

No.	期 日	会 場	人 数	主 な 内 容
1	R2.12.11	オンライン	14	修了年度別グループトーク

### 3. 研究活動

(1) 大阪老人福祉施設研究大会（オンライン）

老人施設部会 YouTube チャンネルにおいて、各施設の発表内容を公開した。発表内容は下記のとおり。

NO	法人名	施設名	テーマ
1	(福) みささぎ会	藤井寺特別養護老人ホーム	適切な介助方法の選び方 ～移乗介助編～
2	(福) みつる会	軽費老人ホームめぐみ荘	『俳句』と『ドッグセラピー』で心も 頭も笑顔に #ココロを寄せて明日へ
3	(福) 恩賜財団済生会 大阪府支部	泉尾特別養護老人ホーム第二大 正園	介護レク ～利用者様の言葉を大切に～
4	(福) 慶徳会	春菊苑	ヒヤリハットと PEAP
5	(福) 慶徳会	養護老人ホーム光華苑	【あたり前の介護】 ～支援について考える～
6	(福) 堺暁福社会	遊づる	「口腔ケアについて」目からウロコ！ やってみて良かった口腔ケア 私たちの成功体験
7	(福) 堺福社会	ハートピア堺	制限がある中での楽しみをどう見つ けるか
8	(福) 四天王寺福祉事 業団	四天王寺きたやま苑	褥瘡の改善・予防について
9	(福) 秀幸福社会	エルダーケアプランセンター	ケアマネジャーから見た利用者の自 立支援・介護予防への関り
10	(福) 秀幸福社会	高槻エルダーセンター	介護の質の確保と向上 ～自分をもっと知ろう～
11	(福) 翠明社	照葉の里	ノーリフトケア定着の「鍵」 ～2-6-2 の法則を用いて～
12	(福) 大阪YMCA	YMCA サンホーム	見守りシステムの導入 ～睡眠確保 と介護負担軽減について～
13	(福) 大阪YMCA	YMCA サンホーム	YMCA サンホーム 人と笑顔がつながる！リモート体操
14	(福) 大阪府社会福祉 事業団	四條畷荘	新型コロナ禍でつながる地域と施設
15	(福) 大阪府社会福祉 事業団	四條畷荘デイサービスセンター ほほえみ	認知症のその人を理解するための『自 分史』を活用したケアの実践について
16	(福) 東寿会	イースタンビラ	認め合える関係づくりの第一歩 ～思い込みをなくそう！～
17	(福) 竜華福社会	ホーム太子堂	送迎の取り組みによる効果 ～虹の架け橋運動～

## 4. 福祉・介護人材の確保

### (1) ブロック別就職フェア

No.	期 日	会 場	主 な 内 容
1	R2.4.25	豊能ブロック福祉就職フェア	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。
2	2.9.24	京橋ツイン 21 MIDタワー	北河内ブロック福祉就職フェア (18 法人出展) 来場者 85 名 見学者 10 名 面接 4 名 採用 4 名
3	3.2.14	三島ブロック福祉就職フェア	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。
4	3.3.1 ~3.31	オンライン	南河内ブロック福祉就職フェア (12 法人出展) 面談 1 名 面接 1 名 採用 1 名

(2) 老人施設部会 8 年勤続感謝状 受賞者：1,056 名

### (3) 昇陽高校 実習振替授業への協力

内容：新型コロナウイルスが感染拡大している状況下において、昇陽高校の学生の介護実習が中止となったため、福祉介護人材対策プロジェクトにおいて調整を行い、演習を中心とした振替授業に対して協力を行った。

## 5. 調査事業

### (1) 各種アンケート、意見集約の実施

No.	期 間	主 な 内 容
1	R2.2.27 ~3.20	特養・在宅サービス事業所 実地指導における指導事項の集約 (※令和 2 年度の意見交換に向けての調査のため、集約は令和元年度に実施。)
2	2.4.9 ~4.30	消費税増税に伴う措置費に関するアンケート (養護分科会)
3	2.6.2 ~7.3	新型コロナウイルス感染症に関連した取り組み調査 (福祉介護人材対策プロジェクト)
4	2.6.3 ~6.14	新型コロナウイルスによる経営への影響に関するアンケート (在宅分科会)
5	2.7.7 ~7.19	新型コロナウイルス・研修等に関するアンケート (軽費分科会)
6	2.10.9 ~10.30	学生インターン・アルバイト・ボランティアの受け入れに関するアンケート (福祉介護人材対策プロジェクト)
7	2.10.13 ~10.31	緊急事態宣言解除後の利用状況等に関するアンケート (在宅分科会)
8	2.11.25 ~12.21	紹介及び派遣職員の実態調査 (特養分科会)
9	3.2.25 ~3.17	大阪府への新型コロナウイルス感染症対応に関する意見集約

## 6. 情報発信

### (1) 「老人施設部会ニュース」の発行

No.	期 日	主 な 内 容
1	R2.4.22	新型コロナウイルスに関する情報提供について
2	2.4.22	令和2年度近老協大阪大会の延期について
3	2.5.28	緊急包括支援交付金に約2.2兆円を計上 第2次補正予算案
4	2.5.29	大阪府と新型コロナウイルス感染症対策に関する意見交換会を開催
5	2.6.1	サービス提供なくとも居宅介護支援費の請求可能に 新型コロナ対応
6	2.6.3	利用者と接する介護・福祉分野の慰労金、介護職に限定せず 厚労省
7	2.6.15	居宅介護支援事業所の管理者要件で改正省令を公布 厚労省
8	2.6.23	①コロナ慰労金の要件「10日以上勤務」、1回限定で非課税扱い ②通所系サービスの臨時的な報酬増でQ&A 厚労省事務連絡
9	2.6.24	介護職への慰労金、「通算10日以上勤務」が対象 厚労省が実施要綱
10	2.6.29	特定処遇改善加算、4割が未請求 社保審・介護給付費分科会
11	2.6.30	布製マスク、介護・障害者施設などに約4,000万枚を配布
12	2.7.1	令和2年度 「大阪府ICT導入支援事業補助金」の公募開始!
13	2.7.2	報酬改定へ横断的なテーマの議論が一巡 社保審・介護給付費分科会
14	2.7.3	緊急時に備え高齢者施設への応援体制構築を 厚労省が事務連絡
15	2.7.8	介護職員が可能な医行為でないケアを整理へ 規制改革推進会議答申
16	2.7.10	看多機の設置促進へ評価の引き上げ求める声も 社保審・分科会
17	2.7.13	夜間対応型、定期巡回・随時対応型への移行で意見 社保審・分科会
18	2.7.20	①特養のサービス活動収支DIなど、最低水準に 福祉医療機構調査 ②社会福祉法人の事業展開、ガイドライン案を了承 社保審・福祉部会
19	2.7.22	①介護現場の効率的な勤務管理を検討 成長戦略フォローアップ ②通所介護の生活機能向上連携加算で議論 社保審・介護給付費分科会
20	2.7.28	通所リハの大規模事業所減算、廃止求める声も 社保審・分科会
21	2.8.3	～第91回社会保障審議会介護保険部会について～ ①要介護認定の匿名データ提供で専門委員会設置へ ②第8期介護保険事業(支援)計画の基本指針案に災害・感染症対策 ③介護医療院、引き続き総量規制の対象外に
22	2.8.7	～第181回社会保障審議会介護給付費分科会について～ ①介護事業経営実態調査の回答受け付け、8月中旬ごろまで延長 厚労省 ②軽度者の低い報酬設定が小多機の「赤字要因」の声 社保審・分科会
23	2.8.26	～第182回社会保障審議会介護給付費分科会～ ①介護報酬改定へ2回目の関係団体ヒアリングを実施 ②理学療法士の訪問看護、人員基準の厳格化を ③居宅介護支援の基本報酬引き上げを求める意見

No.	期 日	主 な 内 容
24	2.9.2	～第 183 回社会保障審議会介護給付費分科会～ ①介護老人福祉施設の方向性で議論 社保審・介護給付費分科会 ②23 年度末までに医療療養病床から介護医療院に移行予定の病床は 2.3% ③老健の機能強化巡り、訪問リハ実績の低さなど焦点に 社保審分科会
25	2.9.9	～第 184 回社会保障審議会介護給付費分科会～ ①感染症や災害への対応、介護報酬上の評価など検討へ 社保審分科会 ②地域包括ケアの推進で第 2 ラウンドの議論開始 社保審・分科会
26	2.9.17	～第 185 回社会保障審議会介護給付費分科会～ ①VISIT や CHASE の活用推進などで議論 社保審・介護給付費分科会 ②社会参加支援加算の算定要件見直しなどを求める意見 社保審分科会 ③介護 DB から利用者の自立度を追跡調査 厚労省が結果を提示
27	2.10.7	介護職員の採用と定着で議論 社保審・介護給付費分科会
28	2.10.19	～第 187 回社会保障審議会介護給付費分科会～ ①報酬改定に向けた基本的な視点の案を提示 社保審・分科会で厚労省 ②GH のユニット数の弾力化やサテライト創設を検討 社保審・分科会 ③介護付きホームの看護体制・機能訓練強化で議論 社保審・分科会 ④夜間対応型訪問介護の人員配置要件や基本報酬で議論 社保審分科会 ⑤厚労省が小多機の基本報酬見直し案 社保審・介護給付費分科会 ⑥看多機の自立支援・重度化防止のケアに評価で議論 社保審・分科会
29	2.10.23	～第 188 回社会保障審議会介護給付費分科会～ ①要支援 1・2 の 30 日超の長期ショートステイに疑問も 社保審・分科会 ②デイケアの社会参加支援加算の抜本的見直しで議論 社保審・分科会 ③通所介護の生活機能向上連携加算で算定要件の緩和策を提示 厚労省 ④デイケアのリハマネ加算、要件見直しへ議論 社保審・分科会 ⑤通所介護の個別機能訓練加算、見直しを提案 厚労省 ⑥退院・退所時のカンファレンスに福祉用具専門相談員の参画を ⑦療養通所介護の報酬体系、包括化を提案 厚労省が社保審・分科会に
30	2.11.2	～第 189 回社会保障審議会介護給付費分科会～ ①訪問介護の特定事業所加算の見直しを提案 社保審・分科会に厚労省 ②短期集中リハ実施加算の訪問リハの上限回数見直しを 厚労省 ③訪問リハの診療未実施減算、医師の研修猶予期間延長を提案 厚労省 ④退院当日の訪問看護費の算定で議論 社保審・介護給付費分科会 ⑤居宅療養管理指導に「社会的処方」の取り組みを 厚労省
31	2.11.2	新型コロナウイルス感染症 注意喚起！！
32	2.11.11	介護報酬、引き上げる状況ではないとの認識で一致 財政審・分科会
33	2.11.11	～第 190 回社会保障審議会介護給付費分科会～ ①介護従事者処遇状況等調査の結果を社保審・分科会に報告 厚労省 ②居宅介護支援の基本報酬、逡減制の見直しを 厚労省 ③サービス利用のない居宅介護支援、報酬上の評価検討を 厚労省 ④移行定着支援加算、21 年 3 月末の期限延長に反対意見 社保審・分科会 ⑤老健の基本報酬上の評価指標にリハ 3 職種の配置などを 厚労省
34	2.11.11	～第 191 回社会保障審議会介護給付費分科会～ ①地域包括ケアシステムの推進で議論 社保審・介護給付費分科会 ②ADL 維持等加算、算定率の低さに意見集中 社保審・分科会
35	2.11.16	社会福祉連携推進法人、制度設計の議論開始 厚労省検討会が初会合

No.	期 日	主 な 内 容
36	2.11.16	～第 192 回社会保障審議会介護給付費分科会～ ①災害・感染症への対応、運営基準で義務化を検討 社保審・分科会 ②厚労省が特定処遇改善加算で要件緩和の見直し案 社保審・分科会 ③介護従事者への慰労金支給実績、150 万人程度に 10 月末時点の概算 ④介護人材の確保・介護現場の革新で 11 項目の論点 厚労省 ⑤生活援助の頻回利用への対応で議論 社保審・介護給付費分科会
37	2.11.25	～第 193 回社会保障審議会介護給付費分科会～ ①デイケアの基本報酬に月単位体系の新設提案 社保審分科会で厚労省 ②訪看 ST の人員配置基準、看護職員が 6 割以上で議論 社保審・分科会
38	2.11.26	介護報酬のプラス改定の見送りを提言 財政審建議
39	2.12.3	～第 194 回社会保障審議会介護給付費分科会～ ①介護職員等特定処遇改善加算の見直し案を修正 厚労省 ②ケアマネの介護報酬の通減制、1 人当たり 45 件に緩和 厚労省が提案 ③通所系の基本報酬、直近の一定期間基準へと見直し検討 厚労省 ④介護療養型医療施設からの移行検討状況、報告義務化を提案 厚労省 ⑤全ての利用者の CHASE データ提出など、報酬上の評価を提案 厚労省
40	2.12.8	第 195 回社会保障審議会介護給付費分科会 ～各サービスの運営基準等の改正案、一部は再審議に 社保審・分科会～
41	2.12.15	～第 196 回社会保障審議会介護給付費分科会～ ①21 年度介護報酬改定に関する審議報告案を提示 厚労省 ②人員配置基準の緩和、検証が不十分との指摘も 社保審・分科会
42	2.12.21	介護報酬改定、0.7%引き上げで決着 新型コロナ対応 0.05%を含む
43	2.12.22	社会福祉連携推進法人、運営の在り方等で議論開始 厚労省・検討会
44	2.12.23	第 197 回社会保障審議会介護給付費分科会 ～21 年度介護報酬改定の審議報告の修正案で議論～
45	2.12.25	岩田敏郎氏が今年度限りで部会長を辞任することを表明
46	2.12.28	21 年度介護報酬改定に関する審議報告を公表 厚労省
47	3.1.8	第 198 回社会保障審議会介護給付費分科会 ～介護サービスの基準省令改正の諮問を了承 社保審・分科会～
48	3.1.20	大阪府 高齢者施設「スマホ検査センター」の開設について
49	3.1.27	第 199 回社会保障審議会介護給付費分科会 ①介護サービス基本報酬、4 月から引き上げ 社保審・介護給付費分科会 ②CHASE と VISIT を統合、科学的介護情報システムに 略称は LIFE ③介護報酬改定、オンラインの服薬指導で 45 単位を新設 ④21 年度介護報酬改定、要支援者へのリハビリ縮小 ⑤医療と介護の連携強化で減薬の評価を新設 21 年度介護報酬改定
50	3.2.3	施設従事者への新型コロナのワクチン接種、入所者と同時も可能に
51	3.2.15	社会福祉連携推進法人への貸し付けルールなど議論 厚労省
52	3.2.19	「大阪府高齢者計画 2021(案)」に対する府民意見等の募集について
53	3.2.25	LIFE の介護事業所で必要な利用申請手続きについて事務連絡 厚労省
54	3.3.5	介護施設・事業所の BCP 作成支援で研修動画を公開 厚労省

No.	期 日	主 な 内 容
55	3.3.10	社会福祉連携推進法人も技能実習の監理団体に 厚労省が方向性
56	3.3.11	高齢者施設等の新型コロナ感染症事例集で事務連絡 厚労省
57	3.3.17	①在宅介護の職員も条件付きでコロナワクチンの優先接種対象 厚労省 ②21年度報酬改定の効果検証で LIFE の活用状況を調査へ 厚労省 ③令和3年度介護報酬改定の通知案が示される
58	3.3.22	2021年度介護報酬改定の解釈通知を发出 厚労省
59	3.3.24	2021年度介護報酬改定Q&A、第1弾を事務連絡 厚労省
60	3.3.25	2021年度介護報酬改定Q&A、第2弾を事務連絡 厚労省
61	3.3.31	LIFE への情報提出、匿名化されるため利用者同意は不要 厚労省
62	3.3.31	勤続年数7年以上の解釈、同一法人等で通算可 厚労省がQ&A

(2) その他関係機関による研修会等各種情報提供 42件

## 7. 広報・啓発活動

- (1) ホームページ「さくら草ネット」の運用
- (2) メール配信システムの運用
- (3) 会議・研修などのWEB申込みシステムの運用

## 8. 新型コロナウイルス感染症に関する対応

### (1) 物資提供依頼

No.	調整期間	物 品 名	数 量	内 訳
1	R2.4.20 ～4.22	使い捨てガウン	510 枚	下記 23 施設よりご提供いただきました。 (※施設名 50 音順) あかつき特別養護老人ホーム／あすか八尾／ 天の川明星／イースタンビラ／いくとく／ いのこの里／いわき園／江之子島コスモス苑／ ケアハウス・OSAKA 歓の里／大阪老人ホーム／ 大阪老人ホームうえだ／おおみの／春日丘荘／ からまつ苑／コモンズ三国／サン・アクエリア／ しあわせの郷／寿光園／摂津特養ひかり／ 高槻市立養護老人ホーム／高槻荘／玉田山荘／ ちくりんの里／南港咲洲特別養護老人ホーム／ 南港咲洲養護老人ホーム／古江台ホール／ ホーム太子堂／ミス・プール記念ホーム／雅の苑 みらい／六尾の郷／守口荘／やすらぎの園／ ルーチェ千舟／レーベンズポルト
		医療用エプロン	550 枚	
		シューズカバー	100 枚	
		キャップ	60 枚	
		グローブ	3 箱	

(2) 備蓄品の寄贈・購入・分配

No.	期 日	物 品 名	数 量	内 容
1	R2.4	マスク	150,000 枚	中国遼寧省大連市遼寧成大グループより寄贈
2	2.4.22	マスク	3,600 枚	老人施設部会で購入
3	2.5.22	マスク	2,000 枚	(株) 因州屋より寄贈
4	2.6.22	マスク	4,800 枚	老人施設部会で購入
5	2.6.30	袖付きビニルエプロン ゴーグル フェイスシールド ニトリル手袋 サージカルマスク N-95 マスク シューズカバー 消毒液 非接触体温計	1,200 枚 40 個 800 個 1,200 枚 1,000 枚 200 枚 1,200 枚 200L 40 本	全国老人福祉施設協議会より分配 ※下記の7ヶ所で保管 大阪老人ホーム(松原市) 天の川明星(交野市) 軽費老人ホーム幸福荘(岸和田市) ホーム太子堂(八尾市) いのこの里(吹田市) 永寿福祉会(大阪市) 大阪市老人福祉施設連盟(大阪市)
6	2.9.23	プラスチックグローブ	158,000 枚	老人施設部会で購入

(3) 学生アルバイトの募集について

《概要》新型コロナウイルス感染症の影響により、アルバイトの収入がなくなった学生等の支援として、学生アルバイトの受け入れができる施設を募集。受け入れ可能施設の一覧表を作成し、大学や専門学校をはじめ、市町村社協や児童養護施設等でアルバイト募集の周知をしていただいた。

《申出施設数》 61 施設

(4) クラスター発生施設への職員派遣協力について

【大阪府社協への申し出を元に、老人施設部会から派遣協力いただいた施設】

No.	派遣期間	法人名	施設名	職員数
1	R3.2.3～2.7	(福) 聖徳会	大阪老人ホーム	2
2	3.2.3～2.7 3.2.8～2.12	(福) みなと寮	大阪市立弘済院第1特別養護老人ホーム 愛港園/第2愛港園	1 2
3	3.2.8～2.12	(福) 聖ヨハネ学園	ミス・ブール記念ホーム	1

## 9. 社会貢献事業の推進

### (1) 老人施設部会社会貢献事業推進委員会

#### ①老人施設部会社会貢献事業推進委員会

No.	期 日	会 場	人 員	主 な 議 題
1	R2.4.16	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。		
2	2.6.18	オンライン	9	○新委員の紹介 ○令和2年度の活動について ○大阪しあわせネットワークの推進について
3	2.8.20	大阪社会福祉指導センター	12	○全国情勢について ○コロナ禍における相談支援のあり方について ○CSW活動の広報について ○中間的就労の受け皿拡大について ○大阪しあわせネットワークの推進について
4	2.10.15	大阪社会福祉指導センター	8	○全国情勢について ○中間就労の取り組み発信について ○特別部会費未納施設への対応について ○大阪しあわせネットワークの推進について
5	2.12.17	オンライン	11	○中間的就労担当者養成研修の動画について ○大阪しあわせネットワークの推進について ○年末年始における生活困窮者に対する支援の協力体制について
6	3.2.18	オンライン	11	○10分でわかる中間的就労（研修動画）について ○令和3年度事業について ○大阪しあわせネットワークの推進について

#### ②新たなステージを考える事業研究小委員会

No.	期 日	会 場	人 員	主 な 内 容
1	R2.11.2	大阪社会福祉指導センター	6	○中間的就労支援担当者研修の動画作成について
2	2.12.09	大阪社会福祉指導センター	5	○中間的就労支援担当者研修の動画作成について ○今後のスケジュールについて
3	3.1.6	大阪社会福祉指導センター	4	○中間的就労支援担当者研修の動画撮影
4	3.1.20	大阪社会福祉指導センター	5	○中間的就労支援担当者研修の動画撮影
5	3.2.9	大阪社会福祉指導センター	2	○中間的就労支援担当者研修の動画撮影

### (2) 研修会

#### ①就労訓練事業（中間的就労）就労支援担当者養成研修会

No.	期 日	会 場	人 数	主 な 内 容
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。				

#### ②中間的就労実践事例報告会～就労支援担当者フォローアップ研修～

No.	期 日	会 場	人 数	主 な 内 容
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。				



### ③10分でわかる中間的就労

内容：コロナ禍において、例年行っている就労訓練事業（中間的就労）就労支援担当者養成研修会の開催が難しいため、これまで行ってきた研修会のポイントの動画を作成し、老人施設部会のYouTubeチャンネルにて公開した。

- ・ Vol.1 「生活困窮者自立支援法の概要について」 <https://youtu.be/FGx3QyD6DNU>
- ・ Vol.2 「中間的就労の具体的な支援の流れ」 <https://youtu.be/6c1muFBi3o4>
- ・ Vol.3 「中間的就労様式集の作成方法」 <https://youtu.be/e3iurB6QT2w>
- ・ Vol.4 「業務分解とマッチング」 <https://youtu.be/Lc6KJRl43aw>
- ・ Vol.5 「中間的就労受け入れ事例とポイント」 <https://youtu.be/77YJ6nsjrUQ>

### (3) 大阪しあわせネットワークの推進

- ①生活困窮者レスキュー事業の実施
- ②社会福祉法人の強みを活かしたさまざまな地域貢献事業の推進
- ③社会貢献基金（特別部会費）の拠出
- ④経営者部会推進委員会への参画

※別冊「令和2年度 大阪しあわせネットワーク 事業報告書」を参照ください。

### (4) 社会貢献支援員との意見交換

No.	期 日	会 場	人 員	主 な 内 容
1	R3.2.5	大阪社会福祉 指導センター	13	○コロナ禍での支援について ○居住支援について

## 10. 特養分科会

### (1) 総会 ※老人施設部会総会と同時開催

No.	期 日	会 場	人 員	主 な 議 題
1				<議案内容> ○令和元年度事業報告・収支決算について ○役員の一部改選について ○令和2年度部会費の取り扱いについて <報告> ○令和2年度事業計画・収入支出予算について

### (2) 運営委員会

No.	期 日	会 場	人 員	主 な 議 題
1	R2.4.21	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止。		
2	2.6.16	大阪社会福祉指導センター	13	○全国情勢について ○新型コロナウイルスに対する部会の取り組みについて ○各小委員会の方向性について ○ブロック活動の強化について
3	2.8.18	オンライン	13	○委員会の活動報告について ・新型コロナウイルス感染症対策委員会 ・制度提言委員会 ○委員会の今後の活動について ・研修委員会 ・調査・研究委員会
4	2.10.20	オンライン	8	○委員会の活動報告について ・調査・研究委員会 ・研修委員会 ○今年度ブロック事業の進め方について
5	2.12.15	オンライン	13	○委員会の活動報告について ・調査・研究委員会 ○ブロック事業の予定について ○令和3年度事業計画について ○役員改選について
6	3.2.16	オンライン	13	○ブロック事業の予定について ○紹介及び派遣職員調査結果の報告について ○令和3年度事業計画について ○役員改選について ○近老協大阪大会について ○全国情勢について

### (3) 老人施設部会ブロック会議 ※再掲

No.	期 日	ブロック	会 場
1	R2.6.17	堺市	堺市総合福祉会館
2	2.7.31	大阪市	オンライン
3	2.9.24	大阪市	オンライン
4	2.10.21	堺市	堺市産業振興センター
5	2.11.4	豊能	千里朝日阪急ビル
6	2.11.27	大阪市	オンライン

No.	期 日	ブロック	会 場
7	2.12.10	堺市	オンライン
8	3.1.20	南河内	オンライン
9	3.2.5	大阪市	オンライン
10	3.2.15	三島	オンライン
11	3.2.17	堺市	オンライン
12	3.2.26	中河内	オンライン
13	3.3.3	北河内	オンライン
14	3.3.10	豊能	オンライン
15	3.3.12	大阪市	オンライン
16	3.3.18	泉州	オンライン

#### (4) ブロック別研修会

No.	期日	会場	人 員	主な内容
1	R3.2.26	オンライン	15	〈中河内ブロック〉 「ロボット・ICTを活用した現場革新セミナー」 講師：株式会社日本経営 次長 宮本 翔 氏

#### (5) 研修委員会

No.	期 日	会 場	人 員	主 な 議 題
1	R2.9.7	オンライン	3	○今年度研修事業について

#### (6) 調査・研究委員会

No.	期 日	会 場	人 員	主 な 議 題
1	R2.9.8	オンライン	4	○今年度調査・研究小委員会の取り組みについて
2	2.11.10	オンライン	5	○調査票の検討について

#### <紹介及び派遣職員調査アンケートの実施>

- ① 調査概要 大阪府内の紹介及び派遣職員の実態について、把握するとともに、その結果をもって、各施設が派遣会社等と交渉する際の根拠資料を作成することを目的として実施。
- ② 調査時期 令和2年11月25日～令和3年1月6日
- ③ 調査票配布先 会員施設（特養）367施設
- ④ 回収状況 282施設（76.8%）

#### (7) 新型コロナウイルス対策委員会

No.	期 日	会 場	人 員	主 な 議 題
1	R2.7.7	大阪社会福祉指導センター	4	○新型コロナウイルス対策小委員会の取り組みについて
2	2.7.21	大阪社会福祉指導センター	5	○今年度の具体的な取り組みについて
3	2.8.6	大阪府社会福祉会館	5	○新型コロナウイルス対策チェックリスト・対応フロー作成について

**(8) 制度提言委員会 ※再掲**

No.	期 日	会 場	人 員	主 な 議 題
1	R2.7.6	大阪社会福祉 指導センター	7	○2021年度介護報酬改定に向けた要望について ○大阪府との意見交換（実地指導・指導監査の指摘事項）について

**(9) ブロック別就職フェア ※再掲**

No.	期 日	会 場	主 な 内 容
1	R2.4.25	豊能ブロック福祉就職フェア ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。	
2	2.9.24	京橋ツイン 21 M I Dタワー	北河内ブロック福祉就職フェア（18 法人出展） 来場者 85 名 見学者 10 名 面接 4 名 採用 4 名
3	3.2.14	三島ブロック福祉就職フェア ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。	
4	3.3.1 ～3.31	オンライン	南河内ブロック福祉就職フェア（12 法人出展） 面談 1 名 面接 1 名 採用 1 名

**(10) 研修会**

No.	期 日	会 場	人 員	主 な 内 容
1	R2.10.28	オンライン	92	【新型コロナウイルス感染症 事例報告会】※再掲 ○事例報告① 『特別養護老人ホームにおける新型コロナウイルス発生事例と今後の備え』 (福) ウェル清光会 豊中エリア長 施設長 細川 和孝 氏 ○事例報告② 『新型コロナウイルス感染の発生から収束まで』 (福) 久義会 高秀苑 施設長 田中 智子 氏 ○質疑応答
2	2.12.8	オンライン	40	【新型コロナウイルス感染症予防に関する研修会】 講師 田原 ひとみ 氏 (株式会社 ツクイスタッフ)
3	3.1.15	オンライン	70	【新春セミナー (介護報酬改定)】 講師 株式会社 日本経営 課長 本島 傑 氏

## 1 1. 養護分科会

### (1) 分科会

No.	期 日	会 場	人 員	主 な 議 題
1	R2.7.13	OMM	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>○消費税増税に伴う措置費に関するアンケート結果報告</li> <li>○今年度事業について（相談員連絡会、演芸大会等）</li> <li>○養護老人ホームにおける課題や今後の展望についての意見交換</li> </ul>
2	3.2.3	オンライン	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>○事例報告会「契約入所に関する実践事例報告」</li> <li>報告①（福）桃林会 とりかい白鷺園 施設長 百武 昭彦 氏</li> <li>報告②（福）ひじり福祉会 ゆずの郷 施設長 小林 雄作 氏</li> <li>○養護老人ホームにおける現状と課題について意見交換</li> <li>○大阪府への要望書提出についての報告</li> <li>○養護分科会 会費基準の改定について</li> <li>○来年度事業計画について</li> </ul>

### (2) 研修会

No.	期 日	会 場	人 員	主 な 内 容
1	R2.10.28	オンライン	92	<p><b>【新型コロナウイルス感染症 事例報告会】※再掲</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○事例報告① 『特別養護老人ホームにおける新型コロナウイルス発生事例と今後の備え』 （福）ウエル清光会 豊中エリア長 施設長 細川 和孝 氏</li> <li>○事例報告② 『新型コロナウイルス感染の発生から収束まで』 （福）久義会 高秀苑 施設長 田中 智子 氏</li> <li>○質疑応答</li> </ul>

### (3) 生活相談員連絡会

No.	期 日	会 場	人 員	主 な 内 容
1	R2.11.11	OMM	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各施設の取り組み紹介（8施設） 天森養護老人ホーム／四條畷荘／とりかい白鷺園／ 四天王寺悲田院／東大阪養護老人ホーム／ 四天王寺松風荘／ゆずの郷／心合寮</li> <li>○意見交換</li> </ul>

### (4) 大阪府担当課との意見交換会 ※再掲

No.	期 日	会 場	人 員	主 な 内 容
1	R2.11.12	大阪府庁	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>○大阪府下の養護老人ホームに対する措置控えについて</li> <li>○入所判定委員会の開催について</li> <li>○養護老人ホーム・軽費老人ホーム・ケアハウス職員等の処遇改善について</li> <li>○消費税率の引上げに伴う養護老人ホームの措置費単価について</li> </ul>

**(5) 養護分科会演芸大会**

No.	期 日	会 場	人 数	主 な 内 容
1	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。			

**(6) 消費税増税に伴う措置費に関するアンケート調査**

調査目的 施設所在地市町村別の措置費改定状況を把握するため  
実施時期 令和2年4月9日～令和2年4月30日  
調査票配布先 会員施設（養護老人ホーム）24施設  
回収状況 20施設（83.3%）

**(7) 普及・啓発活動**

養護老人ホームPR用チラシの作成

目的：養護老人ホームの普及・啓発を目的に、行政や専門職等に周知を図っていくため。

**(8) 老人施設部会ブロック会議への参加** ※老人施設部会事業報告を参照

## 12. 軽費分科会

### (1) 総会 ※老人施設部会総会と同時開催

No.	期 日	会 場	人 員	主 な 議 題
1				<議案内容> ○令和元年度事業報告・収支決算について ○役員の一部改選について ○令和2年度部会費の取り扱いについて <報告> ○令和2年度事業計画・収入支出予算について

### (2) 分科会

No.	期 日	会 場	人 員	主 な 議 題
1	R2.9.23	オンライン	22	<b>【軽費老人ホームA型 茨戸ライラックハイツにおける新型コロナウイルス感染症の発生から終息まで】</b> 事例報告者 (福)札幌恵友会 軽費老人ホームA型 茨戸ライラックハイツ 施設長 柴田 邦彦 氏 生活相談員 友高 美保 氏
2	3.2.17	オンライン	18	<b>【納得感を高める言葉遣いと苦情への対応】</b> 講師：有限会社レイズ 増田 知乃 氏

### (3) 研修会

No.	期 日	会 場	人 員	主 な 内 容
1	R2.10.28	オンライン	92	<b>【新型コロナウイルス感染症 事例報告会】※再掲</b> ○事例報告① 『特別養護老人ホームにおける新型コロナウイルス発生事例と今後の備え』 (福)ウエル清光会 豊中エリア長 施設長 細川 和孝 氏 ○事例報告② 『新型コロナウイルス感染の発生から収束まで』 (福)久義会 高秀苑 施設長 田中 智子 氏 ○質疑応答

### (4) 運営委員会

No.	期 日	会 場	人 員	主 な 議 題
1	R2.7.1	大阪社会福祉指導センター	9	○大阪府からの情報提供 ○令和2年度分科会事業について ○老人施設部会 会費（軽費分科会）基準の見直しについて
2	2.8.7	オンライン	10	○新型コロナウイルス・研修等に関するアンケート結果について ○令和2年度分科会事業について ○老人施設部会 会費（軽費分科会）基準の見直しについて

No.	期 日	会 場	人 員	主 な 議 題
3	2.12.9	オンライン	10	○老人施設部会 会費（軽費分科会）基準の見直しについて ○令和2年度分科会事業について ○令和3年度事業計画について ○役員改選について
4	3.2.2	オンライン	8	○大阪府からの情報提供 ○令和2年度分科会事業について ○令和3年度事業計画について ○役員改選について

#### (5) 新型コロナウイルス・研修等に関するアンケート調査

<調査概要>

新型コロナウイルス感染症に関する取り組みについて状況を把握し、今後必要となる対策を検討することを目的として実施。

- ① 実施期間 令和2年7月7日～令和2年7月28日
- ② 調査票配布先 会員施設（軽費・ケアハウス）86施設
- ③ 回収状況 31施設（36.0%）

#### (6) 老人施設部会ブロック会議への参加 ※老人施設部会事業報告を参照



### 13. 在宅分科会

#### (1) 総会 ※老人施設部会総会と同時開催

No.	期 日	会 場	人 員	主 な 議 題
1				<議案内容> ○令和元年度事業報告・収支決算について ○役員の一部改選について ○令和2年度部会費の取り扱いについて <報告> ○令和2年度事業計画・収入支出予算について

#### (2) 運営委員会

No.	期 日	会 場	人 員	主 な 議 題
1	R2.5.19	オンライン	13	○今年度研修テーマについて ○緊急アンケートの実施について
2	2.8.25	大阪社会福祉指導センター	12	○全国情勢について ○新型コロナウイルス感染症に関する情報交換 ○老人施設部会 会費（在宅分科会）の見直しについて ○研修小委員会 ・今年度研修内容について ○調査研究小委員会 ・新型コロナウイルスに関する経営アンケート結果の活用について
3	2.9.29	大阪社会福祉指導センター	12	○全国情勢について ○老人施設部会 会費（在宅分科会）の見直しについて ○研修小委員会 ・「感染症予防対策」について ・「令和3年度介護報酬改定」について ○調査研究小委員会 ・新型コロナウイルス感染症に関する調査の実施について
4	2.11.17	大阪社会福祉指導センター	11	○全国情勢について ○在宅分科会への入会について ○研修小委員会 ・「イチから学べる 新型コロナウイルス感染対策」について ・「令和3年度介護報酬改定」について ○調査研究小委員会 ・緊急事態宣言解除後の利用状況等に関するアンケート調査の活用について
5	3.1.19	オンライン	13	○全国情勢について ○令和3年度事業計画について ○研修小委員会 ・来年度研修テーマについて ○調査研究小委員会について ・来年度調査内容について ○在宅分科会運営内規の変更について ○役員改選について

No.	期 日	会 場	人 員	主 な 議 題
6	3.3.16	大阪社会福祉 指導センター	8	○全国情勢について ○在宅分科会 入会状況について ○令和2年度事業報告について ○研修小委員会 ・来年度研修テーマについて ○調査研究小委員会 ・来年度調査内容について ○役員改選について

### (3) 研修会

No.	期 日	会 場	人 員	主 な 内 容
1	R2.10.28	オンライン	92	【新型コロナウイルス感染症 事例報告会】※再掲 ○事例報告① 『特別養護老人ホームにおける新型コロナウイルス発生事例と今後の備え』 (福) ウエル清光会 豊中エリア長 施設長 細川 和孝 氏 ○事例報告② 『新型コロナウイルス感染の発生から収束まで』 (福) 久義会 高秀苑 施設長 田中 智子 氏 ○質疑応答
2	2.12.1	OMM	30	【新型コロナウイルス感染症に関する研修会】 ○テーマ「イチから学べる 新型コロナウイルス感染対策～感染症から利用者・職員を守るための標準予防策を正しく理解しよう!～」 講師：一般財団法人 大阪府結核予防会 大阪病院 感染管理認定看護師 松井 あかね 氏
3	3.3.5	オンライン	96	【令和3年度介護報酬改定に関する研修会】 ○テーマ「在宅に特化した介護報酬改定に関する研修会」 講師：株式会社日本経営 課長 本島 傑 氏

### (4) アンケート調査

#### 1. 新型コロナウイルスによる経営への影響に関するアンケート調査

##### <調査の概要>

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う在宅介護サービス事業所における経営への影響を把握し、今後の部会事業推進や、行政等への意見要望に資するものとするため実施。

- ① 実施時期 令和2年6月3日～令和2年6月28日
- ② 調査対象 大阪府社協 老人施設部会 会員施設・事業所 561ヶ所
- ③ 回答数 122件

※アンケート調査結果は、大阪府福祉部高齢介護室介護事業者課へ送付

## 2. 緊急事態宣言解除後の利用状況等に関するアンケート調査

### <調査の概要>

緊急事態宣言解除後の利用状況と、デイサービスおよびショートステイにおける介護報酬特例の算定状況について把握し、今後の部会事業推進や、行政等への意見要望に資するものとするため実施。

- ① 実施時期 令和2年10月13日～令和2年11月8日
- ② 調査対象 大阪府社協 老人施設部会 会員施設・事業所 561ヶ所
- ③ 回答数 211件

※アンケート調査結果は、大阪府福祉部高齢介護室介護事業者課および全国社会福祉協議会 全国社会福祉法人経営者協議会へ送付

### (5) 全国地域包括・在宅介護支援センター研究大会（兵庫県）

※新型コロナウイルス感染拡大のため、開催延期

### (6) 老人施設部会ブロック会議への参加 ※老人施設部会事業報告を参照

#### 14. 老人施設部会からの委員派遣

- |      |                                  |            |                |                |                         |
|------|----------------------------------|------------|----------------|----------------|-------------------------|
| (1)  | 大阪府社会福祉協議会                       | 理事         |                |                | ・岩田敏郎                   |
| (2)  | 大阪府高齢者保健福祉計画推進委員会                | 委員         |                |                | ・三好隆夫                   |
| (3)  | 大阪府社会福祉審議会                       |            |                |                | ・岩田敏郎                   |
| (4)  | 大阪府医療審議会                         | 専門委員       |                |                | ・岩田敏郎                   |
| (5)  | 大阪府介護保険審査会                       | 委員         | ・山本智光          | ・村本真吾          | ・赤井智毅                   |
| (6)  | 大阪府民間社会福祉事業健全運営資金審査会             |            |                |                | ・岩田敏郎                   |
| (7)  | 大阪府社会福祉事業振興対策資金貸付審査会             | 委員         |                |                | ・岩田敏郎                   |
| (8)  | 大阪福祉人材支援センター運営委員会                | 委員         |                |                | ・岩田敏郎                   |
| (9)  | 大阪府社協福祉人材支援センター研修運営委員会           | 委員         |                |                | ・西田孝司                   |
| (10) | 同                                | 研修運営専門委員会  | 委員             | ・西田孝司<br>・金子謙一 | ・西島善久<br>・池田美佐子         |
| (11) | 大阪府運営適正化委員会                      | 委員選考委員会    | 委員             |                | ・岩田敏郎                   |
| (12) | 大阪後見支援センター運営協議会                  | 委員         |                |                | ・西島善久                   |
| (13) | 福祉サービス第三者評価システム推進支援会議            | 大阪         | 運営委員           |                | ・西田孝司                   |
| (14) | 大阪府国民健康保険団体連合会                   | 介護給付費審査委員会 | 委員             | ・三好隆夫          | ・赤井智毅                   |
| (15) | 大阪民間社会福祉事業従事者共済会                 | 理事         |                |                | ・岩田敏郎                   |
| (16) | 同                                | 監事         |                |                | ・塚原昭應                   |
| (17) | 同                                | 評議員        | ・山本智光<br>・後藤静男 | ・西田孝司<br>・村本真吾 | ・野内清幸<br>・樋口昌徳<br>・中島康博 |
| (18) | 近畿老人福祉施設協議会                      | 協議員        | ・岩田敏郎          | ・三好隆夫<br>・後藤静男 | ・西田孝司<br>・森 敏記          |
| (19) | 全国地域包括・在宅介護支援センター協議会             | 委員         |                |                | ・三好隆夫                   |
| (20) | 大阪介護支援専門員協会                      | 理事         |                | ・濱田和則          | ・藤田 徹                   |
| (21) | 大阪社会福祉士会                         | 理事         |                |                | ・岩田敏郎                   |
| (22) | 大阪介護福祉士会                         | 理事         |                |                | ・岩田敏郎                   |
| (23) | 大阪府老人介護者家族の会                     | 顧問         |                |                | ・西田孝司                   |
| (24) | 大阪介護労働安定センター                     | 介護労働懇談会    | 委員             |                | ・西田孝司                   |
| (25) | 雇用管理改善企画委員会                      | 委員         |                |                | ・西田孝司                   |
| (26) | 大阪府救急医療対策審議会                     | 専門委員       |                |                | ・村本真吾                   |
| (27) | 大阪府介護人材適正受入れ推進連絡会議               | 構成員        |                |                | ・岩田敏郎                   |
| (28) | 大阪府社会福祉協議会                       | 医事行為委員会    | (たんの吸引委員会)     |                | ・岩田敏郎                   |
| (29) | 包括的支援体制の構築に向けた社会福祉法人等との協働に関する研究会 | 構成員        |                |                | ・岩田敏郎                   |

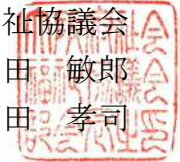
令和2年8月20日

社会保障審議会 介護給付費分科会 委員各位

社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会

老人施設部会長 岩田 敏郎

制度提言委員長 西田 孝司



## 要望書

### 1. 施設の実態に見合った報酬体系について

#### ① 特別養護老人ホームの基準人員配置について

国の全世代型社会保障検討会議では、介護・看護配置基準を3:1にできるだけ近づけ、ひいては基準を4:1にしてはどうかといった発言がありました。しかし、現場では、早番、日勤、遅番、夜勤というシフトを組んでいる場合が多く、3:1基準では1日当たり職員数が3名を下回り、シフトが組めず、現場として成り立ちません。2.5:1ですら、常勤・非常勤で3.5名相当のシフトを組めるかどうかという状況です。

度重なる介護保険制度の改訂により、特養機能が「重度化対応」「看取り・医療対応強化」へ大きくシフトし、利用者の重度化（要介護度3以上の受け入れ）による介護職員の仕事量は増大しています。

大阪府内の特養を対象とした、平成30年度（第5回）特養経営実態調査では、国基準の3:1を上回って配置している施設が多数を占めています。（下記2ページ目、「図表：介護・看護配置基準別集計」ご参照ください）「2:1未満」が35施設、「2:1～2.5:1」が47施設、「2.5:1以上」が29施設となっており、平成30年度（第5回）特養実態調査に回答した111施設の内、73.9%が2.5:1より手厚い職員配置となっています。「令和元年度 介護事業経営概況調査（厚生労働省）」においても、介護・看護配置2:1というのが実態であり、国基準の3:1は現実的ではないといえます。

しかしながら、「全世代型社会保障検討会議第2次中間報告（案）」や、「経済財政運営と改革の基本方針2020（案）」においては、「次期介護報酬改定で人員配置の見直しも含め後押しすることを検討する」と明記されています。介護人材の確保という点では、2020年度の介護人材は約203万人（13万人の不足）、2025年度には約211万人（34万人の不足）という推計が発表されていますが、その不足分を補うために介護ロボットやICT化を推し進めることは非常に重要な事柄です。

介護ロボットやICTの推進は介護業務の負担軽減や業務の効率化・合理化、人材定着にも寄与する点において大変重要ではありますが、介護ロボットやICTが介護職員に置き換わるわけではございません。

また、介護保険創設から20年経ちますが、その間、物価上昇や最低賃金が上昇したにもかかわらず、介護報酬の改定率は創設時から-4.6%であり、施設経営はますます厳しくなっています。

つきましては、介護ロボットやICT化による人員配置基準の緩和に伴い、少ない人員配置だからといってその分の介護報酬を引き下げるといったことがないよう、介護現場の実態を慎重に考慮した職員配置基準の検討、それに見合った介護報酬の改定を検討していただきたい。

図表：介護・看護配置基準別集計

		収支差額率	利用率	職員1人あたり 給与費	職員1人あたり 事業活動収益	労働分配率	施設数
職員配置が手厚い	1.7未満	5.48%	97.56%	338,615	526,741	86.12%	11
	従来型	-	-	-	-	-	0
	ユニット型	5.48%	97.56%	338,615	526,741	86.12%	11
	混合型	-	-	-	-	-	0
	1.7以上2.0未満	5.79%	96.46%	375,623	584,752	85.58%	24
	従来型	2.07%	96.67%	373,784	544,739	89.96%	7
	ユニット型	7.78%	96.47%	375,345	604,984	82.96%	14
	混合型	2.53%	95.90%	381,046	566,934	90.79%	3
	2.0以上2.3未満	3.29%	95.34%	394,598	591,000	89.12%	28
	従来型	0.65%	94.45%	386,440	568,661	92.87%	18
	ユニット型	9.45%	98.10%	442,985	709,707	82.37%	4
	混合型	5.27%	95.82%	378,683	559,701	84.74%	6
	2.3以上2.5未満	3.29%	94.75%	400,858	634,059	87.14%	19
	従来型	3.95%	95.24%	397,783	627,389	87.31%	16
	ユニット型	-	-	-	-	-	0
混合型	-0.17%	92.23%	418,083	671,421	86.25%	3	
職員配置が不足	2.5以上3.0未満	4.50%	89.45%	428,082	662,977	87.90%	23
	従来型	4.39%	88.24%	436,874	670,387	89.20%	20
	ユニット型	-	-	-	-	-	0
	混合型	5.00%	95.25%	387,058	628,403	81.63%	3
	3.0以上	3.67%	90.17%	495,566	807,567	85.99%	6
	従来型	3.67%	90.17%	495,566	807,567	85.99%	6
	ユニット型	-	-	-	-	-	0
	混合型	-	-	-	-	-	0

## ② 小規模特別養護老人ホームの介護報酬について

小規模特養は高齢者の人口が少ない（過疎地や離島など）、土地が高くて用地を確保できない（都市圏）といった事情で大規模特養の設置が難しく、全体として設備費が割高になることや、スケールメリットを生かせないことなどを考慮し、比較的高い基本報酬になっておりました。しかし、2018年度介護報酬改定では通常規模特養に比べ、小規模特養の方が高い収支差額率であったため、その均衡を図るために報酬が下げられ、一定期間後、通常規模特養（定員31人以上）と同じ報酬にまで下げの方針が既に示されております。

しかし、小規模特養には、①通常規模特養を本体施設とするサテライト型と、②サテライト型ではない単独小規模特養があります。①では職員の兼務などにより費用を抑制できる利点がありますが、②ではそうした利点はなく、スケールメリットを生かせない事業構造となっているため、「小規模特養は儲けすぎ」として一括りに議論することは断じて許容できるものではありません。このままでは、特に、②は運営がままならない状態になります。

つきましては、①②の実情を踏まえた小規模特養の報酬に関して、2018年度以前の報酬にまで引き上げて（戻して）いただきたい。

（参考）平成30年度介護報酬改定における各サービス毎の改定事項について  
（第158回 社会保障審議会 介護給付費分科会）

20. 介護老人福祉施設・地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 ⑮小規模介護福祉施設等の基本報酬の見直し			
<b>概要</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 小規模介護福祉施設、経過的地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護及び旧措置入所者の基本報酬について、報酬体系の簡素化や報酬の均衡を図る観点から、見直しを行う。</li> <li>ア 小規模介護福祉施設等の基本報酬の見直し               <ul style="list-style-type: none"> <li>・小規模介護福祉施設（定員30名の施設）について、平成30年度以降に新設される施設については、通常の介護福祉施設と同様の報酬を算定することとする。</li> <li>・既存の小規模介護福祉施設及び経過的地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護（平成17年度以前に開設した定員26～29名の施設）と他の類型の介護福祉施設の報酬の均衡を図る観点から、別に厚生労働大臣が定める期日以降、通常の介護福祉施設の基本報酬と統合することとする。</li> <li>・上記に合わせ、既存の小規模介護福祉施設や経過的地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護の基本報酬について一定の見直しを行う。</li> </ul> </li> <li>イ 旧措置入所者の基本報酬の統合               <ul style="list-style-type: none"> <li>・旧措置入所者の基本報酬については、平成30年度から、介護福祉施設等の基本報酬に統合することとする。</li> </ul> </li> </ul>			
<b>単位数</b> ※以下の単位数はすべて1日あたり			
		＜現行＞	＜改定後＞
○経過的小規模介護福祉施設サービス費（従来型個室）の場合			
要介護1	700単位	⇒	659単位
要介護2	763単位		724単位
要介護3	830単位		794単位
要介護4	893単位		859単位
要介護5	955単位		923単位
○旧措置入所者介護福祉施設サービス費（従来型個室）の場合			
要介護1	547単位	⇒	要介護1 557単位
要介護2又は3	653単位		要介護2 625単位
			要介護3 695単位
要介護4又は5	781単位		要介護4 763単位
			要介護5 829単位

214

## 2. 処遇改善加算・特定処遇改善加算の事務手続きや運用面の簡素化について

2019年10月に介護職員等特定処遇改善加算を創設いただき、介護職員のみならず、他職種の処遇改善を図る原資を確保いただきましたことに感謝申し上げます。

しかしながら、取得率の全体平均が56%になっていることは周知の事実です。今年度から事務負担の軽減の一環として、申請書式が統一化されましたが、事務手続きや算定要件の複雑さが取得率を下げている要因の一つだと考えられます。昨今の人材不足問題や、1法人1施設で事務体制が限られている等の理由により、対応できる職員が少なく、算定を見送っている施設があると推察されます。

処遇改善加算も含め、そもそも加算が創設された意図として、深刻な人手不足の解消を目指した処遇改善であるものの、複雑な事務手続きや算定要件を設定することはその趣旨と反していると言わざるを得ません。

本来であれば、これらの加算を基本報酬に組み込んでいただきたいところですが、難しい場合は、事務手続きや算定要件の簡素化について、検討していただきたい。



### 3. 新型コロナウイルス感染症に係る介護報酬の特例措置について

厚生労働省から6月1日付で、各都道府県等の介護保険担当主管部局あてに発出された「新型コロナウイルス感染症に係る介護サービス事業所の人員基準等の臨時的な取り扱いについて（第12報）」にて、特例的な介護報酬の算定や人員体制、サービス提供の方針が示されました。

しかし、7月20日の介護給付費分科会にて、「認知症の人と家族の会」からもご指摘があったとおり、本特例は利用者の不公平感や、利用者と事業所の信頼関係を損ねてしまいかねません。

厚生労働省の担当者は、「介護報酬は事業所の運営にかかる経費を反映するもの。適切なサービスを利用者へ提供するために必要となる経費を積み上げて設定する、というのが基本的な発想となる。コロナ禍で事業所には“かかり増し”の経費が生じており、それを評価する観点から特例を設けさせて頂いた」と発言しているが、そうであるならば、なおさら利用者の負担で賄うのではなく、公費を投入して減収分を補うようにしていただきたい。

令和2年11月12日

大阪府知事 吉村 洋文 殿

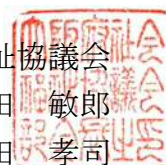
社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会

老人施設部会長 岩田 敏郎

制度提言委員長 西田 孝司

養護分科会長 塚原 昭應

軽費分科会長 野内 清幸



## 要望書

### 1. 大阪府下の養護老人ホームに対する措置控えについて

本年度、本会では養護老人ホーム実態調査を実施しており、大阪府内の養護老人ホームの平均収支差率は1.59%で、約5割の施設が赤字経営だと分かりました。赤字経営には様々な要因が考えられますが、「措置控え」が要因の一つになっていると考えられます。

調査結果から「措置者全数」に占める「所在地措置者」の割合が低下する地域もあり、国の方針・施策と実態との乖離が否めません。具体的には「総人口の内、65歳以上に占める措置率」では、最も高いのは箕面市0.138%、東大阪市0.122%、大阪市0.091%であります。また、「総人口の内、65歳以上に占める措置率(所在地措置者のみ)」では、箕面市0.109%、東大阪市・高槻市0.065%、豊中市0.048%、大阪市0.037%となり、所在地措置者が少ない自治体または他自治体からの受け入れが多い自治体があると推察されます。

	総人口の内、65歳以上に占める措置率	総人口の内、65歳以上に占める措置率 (所在地措置者のみ)
大阪市	0.091%	0.037% (-0.054ポイント)
東大阪市	0.122%	0.065% (-0.057ポイント)
箕面市	0.138%	0.109% (-0.029ポイント)
高槻市	0.068%	0.065% (-0.003ポイント)
豊中市	0.073%	0.048% (-0.025ポイント)

この背景にあるのは、養護老人ホームへの新規入所者の理由として、「被虐待高齢者、DV」による緊急入所の依頼が高まっていますが、通報のあった地域から離れた場所の施設へ入所するのが一般的です。そのため、大阪市や東大阪市は所在地措置者のみの措置率は低下し、他市町村から受け入れていることがうかがえる結果となりました。他自治体からの方が多く受け入れている施設もあり、養護老人ホームの機能を十分に生かし切れていない状況が推察されます。

加えて、養護老人ホームの設置がなく、措置者 0 名の自治体が 12 地域（豊能町・能勢町・太子町・河南町・千早赤阪村・泉大津市・泉佐野市・高石市・阪南市・忠岡町・岬町・田尻町）もあります。

本会員施設の中には、自治体担当者より「措置者がいない」と言われることも多いと聞きますが、オール大阪で展開をしている「生活困窮者レスキュー事業」や「居住確保要配慮者居住支援法人」の支援状況を見ておきますと、経済的困窮者や独居生活困難者は数多く存在し、決して対象者がいないという状況ではありません。

全国介護保険・高齢者保健福祉担当課長会議（2019 年 3 月 19 日開催）においても今後様々な生活課題を抱える低所得高齢者が増加することが見込まれる中、養護老人ホームが有する機能に対する社会的なニーズはさらに高まっていくと示されております。

今、改めて養護老人ホームの重要性が注目されるなか、大阪府として国や市町村および関係機関に対して養護老人ホームの意義と重要性を正しく理解していただくとともに、府民・市民が「生活困窮」に陥らないようなセーフティーネットとしての役割を果たすため、より一層の利用促進について働きかけを行い、措置控えをしないようご尽力ください。

## 2. 入所判定委員会の開催について

介護保険法等の一部を改正する法律（平成 17 年法律第 77 号）により、養護老人ホームに係る老人福祉法（昭和 38 年法律第 133 号。以下「法」という。）の一部改正が行われました。同法第 11 条の規定による入所措置等に係る指針が定められており、「入所判定委員会の開催にあたっては養護老人ホームの求めに応じて行うことができるものとする」明記されております。これは養護老人ホームが入所判定委員会を開催するよう、自治体に訴える権利があるということです。

しかしながら、実情は異なります。養護老人ホームは自治体に入所判定委員会の開催を要求しても、自治体担当に門前払いされております。

「老人ホームへの入所措置等の指針について（平成 18 年 3 月 31 日付け老発第 0331028 号厚生労働省老健局長通知）」でも各都道府県、市町村に通知されていることと思いますが、各自治体とも担当者の変更もあり、十分に認識されてい

るとは言えません。

つきましては、本件については再度市町村に周知いただき、適切に入所判定委員会が開催されるよう働きかけをお願いするとともに、開催されない場合の根拠（なぜ、入所判定委員会の開催が必要ないのか）も併せてご提示頂きますようお願いいたします。

### 3. 養護老人ホーム、軽費老人ホーム・ケアハウス職員等の処遇改善について

介護人材の確保・定着のため、介護職員処遇改善加算や介護職員等特定処遇改善加算がありますが、特定施設入居者生活介護の指定を受けなければ、養護老人ホーム、軽費老人ホーム・ケアハウスの処遇改善加算は算定できません（厳密には、「特定施設生活介護」の指定を受けていれば算定できますが、その分人員配置基準が手厚くなるため、収支が見合わないため指定をとっていない施設もあります）。介護人材の確保・定着に関する課題は特別養護老人ホーム等ではありません。

つきましては、養護老人ホーム、軽費老人ホーム・ケアハウス職員等の処遇改善についても、「特定施設入居者生活介護」の指定がなくても算定できるよう、国に働きかけをしていただきますようお願いいたします。

### 4. 消費税率の引上げに伴う養護老人ホームの措置費単価について

厚生労働省老健局高齢者支援課より令和元年9月6日付けで、『消費税率の引き上げに伴う「老人保護措置費支弁基準」及び「軽費老人ホーム利用料等取扱基準」の取り扱いについて』が発出されており、令和元年10月の消費税増税に伴い、老人保護措置費支弁基準については適切に改定するよう依頼がされています。

しかしながら、令和2年4月に老人施設部会に所属する養護老人ホーム（24施設）に所在市町村の動向について調査をしましたところ、6市（八尾市・茨木市・四條畷市・摂津市・羽曳野市・貝塚市）が改定の見込みがないと回答しております。また、一般生活費、事務費など、増額している項目にばらつきがあり、増税に関わる適切な改定が市町村の判断に委ねられていると推察されます。

つきましては、大阪府として令和元年9月6日付けの厚労省の発出文書を踏まえた各市町村の対応結果に関して、調査いただき、その結果を老人施設部会にフィードバックいただきますようお願いいたします。なお、老人保護措置費支弁基準が適切に改定されていない場合は、その根拠も併せてご提示いただきますようお願いいたします。